

基本目標	基本的な考え方	重点取組	主な事業（現計画）	主な事業改訂案（既存+新たな視点追加）	評価指標
<p>【基本目標①】 地域の支え合いの仕組みづくり</p> <p>成果指標 ・悩みや不安を家族・親族以外にも相談できる市民の役割↑ ・今後、ボランティア・市民活動やNPO活動に参加したい（続けたい）と思う市民の割合↑</p>	<p>多様な主体による地域福祉活動の促進</p> <p>包括的な相談支援体制の充実</p> <p>暮らしを支える環境整備</p>	<p>ボランティア活動の促進</p> <p>総合相談体制の整備</p> <p>多分野の連携によるネットワーク形成</p>	<p>○ボランティアセンターの機能強化 ・ボランティアセンターの運営（情報発信、情報交換会、ボランティア養成講座・研修）</p> <p>○社会福祉法人による地域における公益的な取組の推進 ・研修会等を通じた啓発・事例紹介、助言指導</p> <p>○企業による社会貢献活動の促進 ・ささえあいネット登録勸奨と協力機関との連携事業の実施 ・包括連携協定企業などによる社会貢献活動の促進</p> <p>○全市民的総合相談体制の整備とCSWの効果的な配置 ・新規窓口（高橋、上郷、松平）の開設 ・社協足助支所における障がい相談支援の拡充</p> <p>○包括的な支援体制を支えるICT技術の導入・活用 ・福祉総合相談課、市内支所にタブレット機器の導入 ・テレビ電話機能の付与 ・相談受付システム機能の付与</p> <p>○多職種連携研修・会議の充実 ・消防と福祉の連携研修 ・高齢者・障がい者虐待対応合同研修 ・多職種で自立支援を考える会 ・地域自立支援協議会サポート連絡会 ・在宅医療推進のための多職種合同研修会</p> <p>○（仮）コミュニケーション手段の利用促進に関する条例の検討</p> <p>○コミュニケーション支援策の推進</p> <p>○成年後見支援センターなどの権利擁護機能の強化</p> <p>○地域の関係者と連携した支援体制モデルの展開</p> <p>○要支援者対策を取り入れた防災訓練の実施</p>	<p>○ボランティアセンターの機能強化 ・ボランティアセンターの運営（情報発信、情報交換会、ボランティア養成講座・研修） ◆地域の支え合い・居場所づくりを担う活動団体の支援 ◆お助け隊、子どもの居場所等の立ち上げ、活動・連携支援</p> <p>○社会福祉法人による地域における公益的な取組の推進 ・研修会等を通じた啓発・事例紹介、助言指導</p> <p>○企業による社会貢献活動の促進 ・ささえあいネット登録勸奨と協力機関との連携事業の実施 ★包括連携企業やSDGsパートナーによる社会貢献活動の促進</p> <p>★重層的支援体制推進事業の着実な実践 重層 ★社協CSWとの連携による「包括的相談支援」、「アウトリーチ」、「多機関協働」、「参加支援」、「地域づくり」事業の着実な実践</p> <p>●包括的な支援体制を支えるデジタル化の促進 DX ★効果的・効率的な相談システムの構築 ★豊田みよしケアネットの普及促進 ★福祉情報のオープンデータ化 ★デジタルマップの活用による高齢者の集いの場コーディネート</p> <p>○多職種連携研修・会議の充実 再犯防止 重層 ・消防と福祉・医療の合同研修 ・高齢者・障がい者虐待対応合同研修 ・多職種で自立支援を考える会 ・地域自立支援協議会サポート連絡会 ・在宅医療推進のための多職種合同研修会 ★司法と福祉の連携研修会（再犯防止） ★重層的支援会議定例会（重層）</p> <p>●相互理解の促進と意思疎通の円滑化に関する行動計画の推進 ・理解啓発事業、意思疎通支援の実施</p> <p>●多様な主体が権利擁護支援に関わることができる仕組みづくり ★地域生活意思決定支援事業のモデル実施</p> <p>★ヤングケアラー支援体制の構築 ★子どもの権利の視点での周知・啓発、アセスメントシートによる早期発見、重層支援事業による多機関協働での支援</p> <p>★刑事司法関係機関と連携した切れ目のない支援体制の構築 ★刑事司法関係機関と連携した入居・出口支援のモデル実施</p> <p>○地域の関係者と連携した支援体制モデルの展開 ・要支援者対策を取り入れた防災訓練の実施</p>	<p>○ボランティアセンター登録者数</p> <p>★社会貢献活動に取り組んでいる法人・団体数</p> <p>○総合相談窓口相談件数</p> <p>★アウトリーチ支援、多機関協働での支援は事例紹介を通して評価</p> <p>○多職種連携研修・会議の開催回数</p> <p>○条例の制定 ⇒●理解啓発事業の実施数</p> <p>○成年後見制度相談者数 ★多様な主体が権利擁護に関わることができる仕組みの構築</p> <p>★ヤングケアラー支援体制の構築・実践</p> <p>★刑事司法関係機関と連携した支援体制の構築・実践</p> <p>○支援体制モデルの実施数（避難訓練含む） ●要支援者対策を取り入れた避難訓練</p>

基本目標	基本的な考え方	重点取組	主な事業（現計画）	主な事業改訂案（既存+新たな視点追加）	評価指標
<p>【基本目標②】 地域福祉の担い手づくり</p> <p>成果指標 ・今後、地域活動に参加したい（続けたい）と思う市民の割合↑</p>	<p>地域福祉に関わる人材の裾野拡大</p> <p>福祉サービスを担う専門人材の確保・育成</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin: 5px;">孤独・孤立</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin: 5px;">ヤングケアラー</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin: 5px;">再犯防止</div> </div>	<p>住民福祉教育の推進</p> <p>専門人材の確保・育成</p> <p>事業所の体制強化</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin: 5px;">社福連携</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin: 5px;">DX</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉活動実践の手引書の活用 ・手引書の周知・配布、市民福祉大学等での活用 ○小中学生などを対象とした福祉実践教育の充実 ・福祉実践教室の実施 ○とよた市民福祉大学の推進 ・市民福祉大学の開講（福祉入門コース・家庭介護コース） ・修了者の活動支援、ボランティア情報や区長への周知 ○国内人材を確保するための総合的な取組の推進 ・高校等での学内説明会の開催 ・就職フェア、かいごの教室開催 ・ヘルパートライ講座、初任者研修の実施 ○外国人介護人材の受入体制整備 ・日本語学習支援講座、介護福祉士国試対策講座の開催 ・事業所への受入れに関する相談支援 ・インドネシアバンドン市との連携 ○専門人材を育成するための総合的な取組の推進 ・介サ協HPや調整会議でのスキルアップ研修等の情報提供 ・介サ協が実施する実務者研修の支援 ・現任介護職員研修、スキルアップ・キャリアアップ研修の実施 ・地域包括支援センター研修計画に沿った研修の実施 ・強度行動障がい支援検討会の開催 ・防災に関する研修等 ○民生委員・児童委員の活動環境の改善推進 ・区長会を交えた推薦方法の検討 ・負担感軽減に向けた支援体制づくり ・委員活動の周知及び理解促進 ○中小事業所による共同事業化・生産性向上への支援 ・県介護ロボット等導入促進補助金の周知、活用事例の紹介 ・介護ロボット等の実証実験のマッチング支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉活動実践の手引書の活用 ・手引書の周知・配布、市民福祉大学等での活用 ○小中学生などを対象とした福祉実践教育の充実 ●福祉実践教室の実施 ※教室を通じて、支援を求める声が上がやすい風土づくり、福祉や介護の魅力を知ってもらう機会を創出 ○とよた市民福祉大学の推進 ・市民福祉大学の開講（福祉入門コース・家庭介護コース） ・修了者の活動支援、ボランティア情報や区長への周知 ○国内人材を確保するための総合的な取組の推進 ・学校教育における高齢者の理解促進 ・就職相談会の開催 ・ヘルパートライ講座、初任者研修の実施 ●福祉実践教室を通じた児童・生徒への福祉・介護の魅力発信（再掲） ○外国人介護人材の受入体制整備 ・日本語学習支援講座の開催、介護福祉士国試対策支援 ・事業所への受入れに関する相談支援 ・インドネシアバンドン市との連携 ○専門人材を育成するための総合的な取組の推進 ・介サ協HPや調整会議でのスキルアップ研修等の情報提供 ・介サ協が実施する実務者研修の支援 ・現任介護職員研修、キャリアアップ研修の実施 ★介護保険関係研修費補助金 ・地域包括支援センター研修計画に沿った研修の実施 ★医療的ケア児者・強度行動障がい支援養成研修の開催 ・防災に関する研修等 ★支援者向けゲートキーパー養成研修 ★新たに顕在化してきた社会課題等への対応研修（孤独・孤立、ヤングケアラー、再犯防止など） ○民生委員・児童委員の活動環境の改善推進 ●区長の選任負担の軽減 ●相談事例集の活用 ・委員活動の周知及び理解促進 ○中小事業所による共同事業化・生産性向上への支援 ★社会福祉連携推進法人制度の周知・活用支援 ・県介護ロボット等導入促進補助金の周知、活用事例の紹介 ・介護ロボット等の実証実験のマッチング支援 ★豊田みよしケアネットの普及促進（再掲） ★（仮）地域福祉人材センターの検討 地域福祉の担い手と専門人材の一体的な確保・育成と育成した人材を着実に活躍の場につなぐ仕組みの検討 ※市内人材確保・育成事業の調査、体系整理、情報集約・登録・マッチングの仕組みの検討（ボランティアセンターとの機能整理、地域医療人材センターとの連携含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉実践教室の交流プログラム開催数 ○とよた市民福祉大学修了生の数 ○地域会議 ○担い手を確保・育成するための取組の参加者数 ○他の法人と共同で事業を行っている法人数 ★地域福祉人材の登録・マッチングの仕組みの構築

基本目標

【基本目標③】
誰もがいつまでも活躍できる仕組みづくり

成果指標
・「身近に集える場所」について「特になし」と回答した市民の割合 ↓

基本的な考え方

社会参加・就労につなげる仕組みの構築

孤独・孤立

再犯防止

重点取組

活躍できる場の拡大

●居場所・社会参加の機会の拡大
⇒ 孤独・孤立、ヤングケアラー
= 最初の一步

ヤングケアラー

働く機会の創出

●生きがい・就労機会の創出
⇒ 居場所からステップアップ

【基本目標④】
地域福祉を推進するための基盤づくり

福祉風土の醸成

住民及び福祉に携わる団体、企業などの連携強化

★支援を求める声を上げやすい（発見できる）社会の構築

孤独・孤立

ヤングケアラー

主な事業（現計画）

○多世代が交流・活躍できる居場所の展開
・子どもの居場所等の立ち上げ、活動、マッチング、ネットワーク支援
・フードバンク・フードドライブ企画・運営等
・地域ふれあいサロン立ち上げ、活動、情報交換の支援
・「共生型サービス」の推進に向けた情報提供と啓発
・市認知症カフェ登録事業、研修会・交流会の開催
・地域子どもの居場所づくり事業の推進、新規開設に向けた支援

○認知症の人の社会参加を応援するプロジェクトの推進
・企業向けワークショップ等の開催
・認知症地域支援推進員向け研修の開催
・社会参加の場や機会とのマッチング支援

○お助け隊などの地域の支え合い活動をする団体の支援

○ハローワークなどの就労支援組織が参加する連絡会の開催

○高齢者などが生きがいを持って働くことができる場の確保
・シルバー人材センターへの入会促進、多様な就業機会の確保
・中高年齢者就労支援のための就職相談会、セミナー

○他分野との連携による多様な就労の機会の確保
・共同受注窓口を通じた他事業とのマッチング
・地域の困りごとと障がい者等の就労マッチング

○生活困窮者を対象とした中間的就労のあり方検討

○社会福祉協議会のネットワーク機能の強化
・多者協働の場づくりの推進

○社会福祉協議会の事務局機能の強化

主な事業改訂案（既存+新たな視点追加）

●多様な多世代が交流・活躍できる居場所の展開
●地域の担い手による子どもの居場所、地域ふれあいサロン等居場所の展開
・「共生型サービス」の推進に向けた情報提供と啓発
・市認知症カフェ登録事業、交流会の開催
・地域子どもの居場所づくり事業の推進、新規開設に向けた支援
★CSWによる住民主体の多様な居場所づくりの支援
★SIBを活用した社会参加・居場所の創出
★とよた多世代参加支援プロジェクト（重層）を活用した社会参加・居場所の創出
★若者サポートステーション事業（居場所、ジョブトレーニング）
★オンライン等を活用した居場所の検討

○認知症の人の社会参加を応援するプロジェクトの推進
・企業・認知症地域支援推進員向けワークショップ等の開催
・社会参加の場や機会とのマッチング支援
★若年性認知症等の人の社会参加支援の仕組みづくり（プラットフォームの構築）

◆団体の活動支援は基本目標1「ボランティアセンターの機能強化」に移動 ※担い手の活動は「居場所の展開」を「居場所・活動の展開」として1つにまとめる

●就労相談支援組織のネットワークの強化

○高齢者などが生きがいを持って働くことができる場の確保
●シルバー人材センターへの入会促進、多様な就業機会の確保（★「内職サロン」の設置）
・中高年齢者就労支援のための就職相談会、セミナー

○他分野との連携による多様な就労の機会の確保
・共同受注窓口を通じた他事業とのマッチング
・地域の困りごとと障がい者等の就労マッチング

●福祉的な支援が必要な人の生きがい・中間的就労支援の推進
●とよた多世代参加支援プロジェクト（重層）を活用した生きがい・中間的就労支援の実践

○社会福祉協議会のネットワーク機能の強化
・多者協働の場づくりの推進

○社会福祉協議会の事務局機能の強化

★支援を求める声を上げやすい（発見できる）風土づくり
★地域・支援機関等と連携した社会的認知度の向上と相談窓口の周知・啓発、発見の仕組みづくり
★全国サミットを契機とした市民への啓発

Eモニター

地域会議

評価指標

○多世代が交流できる居場所の総数
⇒ ●多様な多世代が交流・活躍できる居場所の総数

★居場所に参加して出番・役割が持てた人数は事例紹介を通して評価

○連絡会の設置

○福祉的な支援が必要な人を就労につなげる仕組みの構築
⇒ ●生きがい・就労支援の実施数

※機運醸成事業が主となるため、成果指標（市民意識の状態）で確認